



国と地方を 経験できるということ

伊万里市政策経営部長

佐藤 弘康

SATO Hiroyasu

- 平成17年 4月 総務省採用
自治財政局財務調査課
- 平成18年10月 宮崎県地域生活部市町村課
- 平成20年10月 自治財政局公営企業課地域企業経営企画室
- 平成22年10月 自治財政局財政課
- 平成23年 4月 自治財政局財政課企画係長
併任 復興特別交付税室室員
- 平成25年 4月 大臣官房秘書課主査
- 平成27年 4月 自治行政局選挙部管理課国民投票係長
併任 選挙部管理課在外選挙係長
- 平成28年 8月 現職

『市政運営の責任者』

市役所の部長というポストは、市長・副市長を最高経営責任者とした場合、取締役にあたります。市の重要な政策決定の会議にはほぼ全てに参加しますし、担当業務においては政策の最終判断、議会や住民への説明は市を代表して行います。

担当業務は、地方創生関連事業などの企画立案、予算編成、まちづくり事業や交通政策、国際戦略など広範囲です。

地方創生人材支援制度により派遣されていることから、成果も求められており、人口減少社会における地域の生き残りをかけ、職員や住民の方々とともに、時には都市部での伊万里市PR活動(伊万里牛の焼肉実践販売も!)など日々伊万里市のために戦っています。

一方で、限られた予算の中、行政の仕事を全ての人に理解してもらうのは困難であり、議会や住民の批判の矢面に立たなければいけないのもこのポストの現実で、どう説明すれば、一人でも多くの人に理解してもらえるかが常につきまとう課題です。

『国と地方の両立場から』

職業を選択するというは容易なことではなく、多くの皆さんは、これまでに経験したことのない人生最大の決断にせまられていることと思います。

私も、地方公務員として働くことにも魅力を感じており、本当に悩みました。

そんな中、官庁訪問等を通じ、様々な人達と出会い、霞ヶ関においても地方のために働く職場があることや地方公務員の経験もできることを知り、それが総務省でした。

国と地方の両立場を経験できる総務省は、結果として霞ヶ関の中でもバランスのとれたものの方が多く、さらに地方での幹部経験により、組織マネジメント力の高い人材も多いため、良好な組織風土づくりができています。

おそらく職業選択の最終的な決め手になるのは、そこで働く人たちがどういった人たちか、自分にあった職場の空気感か、ということになってくるとは思います。

ぜひ一度は総務省にお越しいただき、その辺りをご確認いただければと思います。

Some One Week

Monday

補正予算や次年度職員定数などそれぞれ担当課と協議。

Tuesday

民間事業者との伊万里牛×伊万里焼のコラボ商品企画会議。

Wednesday

公民館建替えについて地元代表者と協議、伊万里港50周年記念事業の協議。

Thursday

次年度の政策方針を決定する経営戦略会議、補正予算などの市長協議。



Friday

国際戦略の策定協議、伊万里・有田消防組合の会議。



Private Time

市や地域のイベントに家族で参加、伊万里牛や海産物の食べ歩き、窯元巡りや九州の名所観光(前赴任地の宮崎にも足を運びます!)など伊万里・九州ライフを存分に楽しませていただいております。体験したことは積極的にSNSで情報発信するなど、少しでも伊万里のPRになるよう努めています。